

課程修了までの主な流れ

＜後期3年の課程＞	学 生	期 限 等	教 員
アドバイザー決定		3月上旬候補者推薦書提出 3月教務委員会で決定	入試時の研究計画書及び面接を参考に講座会議で検討し、講座代表者が3月上旬までにアドバイザー候補者を推薦書(様式博在修-III-1-(2))に記載し教務係へ提出する。
アドバイザー名発表		4月オリエンテーション	
履修届の提出(D1)	アドバイザーの指導を受けること。	4月中旬 (2学期は10月中旬)	アドバイザーは、課程修了に必要な授業科目を適切に履修するように指導する。
研究指導計画の策定・確認(D1)	主指導教員予定者が作成した「研究指導計画書」を受領・確認し、署名した上で提出する。	5月末日教務係	主指導教員予定者は、学生と協議の上、研究指導計画を策定し、5月末日までに「研究指導計画書」(教務委員会が別に定める様式)によって学生に明示する。
論文作成計画書(第一次)	論文作成計画書(第一次)提出	5月末日教務係	
研究題目・指導教員の申請	アドバイザーの指導を受けること。 指導教員予定者全員の承認を得ること。 (様式博在-III-3-(2)-①)を提出する。	5月末日	アドバイザーは学生の研究題目・指導教員選定に対して指導・助言する。主指導教員・副指導教員(1~2名)予定者は「研究題目届」(様式博在-III-3-(2)-①)を確認する。
研究題目発表会	レジュメ(A4判2枚)提出 (様式博在-III-3-(4)) 一人10分質疑応答5分 (研究題目を変更する場合) 指導教員全員の承認を得て研究科長に「研究題目変更届」(様式博在-III-3-(2)-②)を提出し、直近の教務委員会で承認を得なければならない。 (指導教員を変更する場合) 主指導教員若しくは主指導教員予定者が「指導教員変更届」(様式博在-III-3-(3))を新たに指導教員となる者全員の承認を得て研究科長に提出し、直近の教務委員会で承認を得なければならない。	7月教務委員会 7月下旬	研究題目及び指導教員の決定 「研究題目変更届」(様式博在-III-3-(2)-②)を指導教員全員が確認する。 「指導教員変更届」(様式博在-III-3-(3))を新主指導教員が提出する。
履修届提出(D2)	指導教員の履修指導を受けること。	4月中旬 (2学期は10月中旬)	履修指導
研究指導計画の策定・確認(D2)	主指導教員予定者が作成した「研究指導計画書」を受領・確認し、署名した上で提出する。	5月末日教務係	2年次の「研究指導計画書」を、5月末日までに学生に明示する。
論文作成計画書(第二次)	論文作成計画書(第二次)提出	5月末日教務係	
博士論文中間発表会 題目届	(論文題目の決定) 「博士論文中間発表会題目届」 (様式博在-III-3-(6))提出	6月末日	指導の重点を論文作成指導に移行 「博士論文中間発表会題目届」(様式博在-III-3-(6))を指導教員全員が確認する。
博士論文中間発表会	レジュメ(A4判4枚)提出 (様式博在-III-3-(4)) 一人25分質疑応答15分	7月下旬	博士論文中間発表会題目を決定
研究指導計画の策定・確認(D3)	主指導教員予定者が作成した「研究指導計画書」を受領・確認し、署名した上で提出する。	5月末日教務係	3年次の「研究指導計画書」を、5月末日までに学生に明示する。
論文作成計画書(第三次)	論文作成計画書(第三次)提出	5月末日教務係	
博士論文題目届(D3)	「博士論文題目届」(様式博在-III-3-(9))提出 (博士論文提出資格) 2年以上在学し、6単位以上を修得し、かつ、必要な履修指導、研究活動指導、論文作成指導を受けた者	6月末日	「博士論文題目届」(様式博在-III-3-(9))を指導教員全員が確認する。
博士論文草稿発表会		7月教務委員会	博士論文提出予定者の論文題目の決定
博士論文審査委員		7月下旬~9月	講座単位で個別に公開で実施する。期日、会場、発表者名、論文題目等を教務係に提出する。
博士論文提出	(博士論文の要件) 博士論文は、独自の視野に立って当該専攻分野における先端的研究に貢献をなし、自立した研究者として研究活動又はその他の高度に専門的な業務に従事するために必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を有することを証示するに足るものであること。 (提出する主な書類) 研究指導報告書(様式博在-III-2-(3)) 正本…1部(審査用) 副本(複製本)…論文審査委員数部 正本データ(PDF形式)…1部(インターネット公表用) 参考論文(必ず提出を要するものではない) 論文内容要旨データ(PDF形式)…1部 履歴書…1部 論文目録…1部 ただし、インターネットで公表できない場合には、次の書類も提出すること。 博士論文全文の内容を要約したもの(PDF形式)…1部(インターネット公表用)	11月末日までの10日間 正本データ・要約の提出期限は2月中旬	講座代表者が「博士論文審査委員の推薦について(内定用)」(様式博在-V-1-①)を提出する。主査は論文提出者の指導教員全員(うち一人を主査とする)のほか、他専攻分野(講座)の教員1人とし、原則として2人の教授を含むものとする。
博士論文審査委員決定		12月教務委員会	博士論文審査委員の決定 「博士論文審査委員の推薦について(決定用)」(様式博在-V-1-②)を講座代表者がとりまとめて教務係に提出する。論文審査及び最終試験委員を委嘱する場合には、講座代表者が当該者の履歴書及び業績表(著書または論文3点程度)を提出し、教務委員会の承認を得なければならない。
最終試験	(修正済み箇所一覧表) 博士論文提出後、審査の過程で指摘された誤りのうち、文字の誤記や脱字、差別用語等にかかわる不適切な表現の修正に限り、論文本文を修正できるものとする。その場合、修正箇所については「修正済み箇所一覧表」として論文末尾に追加する。 なお、上記の内容は、主査が許容された範囲のものであるか否か確認する。	2月10日までに実施	最終試験の日程及び会場は主査が決定し、教務係に届け出る。
論文審査等報告	(論文の取り下げ) 「論文審査及び最終試験成績報告書」提出以前の場合、論文を取り下げることができる。(様式博在-X-1)	博士論文提出後から成績報告書提出以前	論文審査等報告 主査は論文審査及び最終試験の結果を「論文審査等報告書」(様式博在-VII-2-①)にとりまとめ、また論文審査の要旨を「論文審査の結果の要旨(1,000字程度)」(様式博在-VII-2-②)にとりまとめ2月20日までに教務係に提出する。
学位授与の審議		3月初旬教授会	議決 主査が論文審査及び最終試験の結果について簡潔に報告し、これにもとづき3分の2以上の出席、3分の2以上の賛成をもって議決する。議決は無記名投票による。
博士学位の授与		3月学位記授与式	

- 指導教員とは、アドバイザー教員、主指導教員、副指導教員をいいます。
- アドバイザー教員は、入学時から主・副指導教員が決まるまでの間、学生一人に一人を配置します。
- 研究指導とは、履修指導、研究活動指導(研究題目に沿った研究のための支援及びそれに必要な教育指導とし、論文題目設定のための調査・研究活動の指導、学会発表・学会誌への論文投稿指導及び学会活動支援等を含めるものとする)及び論文作成指導をいいます。
- 論文作成指導とは学位論文完成のために必要な具体的な執筆指導であり、おおむね論文題目届け出時から、論文完成時までの実践的指導をいいます。
- 研究指導の方式は、①教員の間での研究交流や意見交換をベースに、学生の研究題目に即した個別具体的指導、②特別演習における講座教員チームによる総合的指導、③各種の研究・論文関連発表会における本研究科教員全員による全体的指導により行います。
- 長期履修制度適用、修業年限短縮及び博士課程退学の学生にあつては「博士論文(課程博士)に関する申し合わせ」、「博士論文(博士課程退学者)に関する申し合わせ」を参照してください。
- 9月に修了する場合は、申し合わせを参照してください。
- 日程については学年暦を参照してください。